

平安時代和文の語彙語法の研究／日本語の歴史／現代日本語

国際言語文化学科 たけ べ あゆ み
竹部 歩美

•連絡先 TEL: 054-264-5341

キーワード

日本語, 源氏物語, 国宝源氏物語絵巻, 日本語史, 現代語, 文法, 敬語, 写本, くずし字



平安時代の言語の有り様を知ろうとするとき、『源氏物語』を避けて通ることはできず、これを正しく読解する必要があります。『源氏物語』を正しく読解しようとするとき、平安時代の日本語の文法や語の意味を正しく理解する必要があります。『源氏物語』を正しく現代語訳しようとするとき、現代語を正しく理解する必要があります。

古代語から近代語まで連綿と続く言語変遷の流れにあるものが現代の日本語です。このことを念頭に置きつつ、古代・現代の日本語一特に文法一の研究を行っています。

- 平安時代の文法、語彙、敬語の研究
- 『源氏物語』を日本語学的に調査したうえでの精確な逐語訳の追求
- 国宝『源氏物語絵巻』と源氏物語写本の日本語学的研究
- 現代語の文法を学校文法に基づいて歴史的観点から解説しようとする試み
- 現代日本語の敬語の調査と研究

アピールポイント

- 源氏物語を読む講座や源氏物語写本（くずし字で書かれたもの）の読解講座の講師を県内で毎年担当しています。
- 改まった場面での日本語の運用（例：敬語の使い方・メールの書き方）の指導に取り組んでいます。